

9 調査方法概要

(1) 調査目的

- a) がん体験者の悩みや負担を明らかにする
 - b) 悩みや負担の分類法である『静岡分類』にそって分析する
 - c) 2003年に実施された悩みの全国実態調査結果と比較して、悩みや負担の変化をみる
- ※がん体験者：がんの診療を受けている、あるいは受けたことがある方

(2) 調査対象

がん診療連携拠点病院など全国の医療機関で外来通院中のがん患者とがん関連患者団体（患者支援団体）会員を対象とした調査を実施した。

- a) 医療機関：
外来通院中の20歳以上のがん患者
- b) 患者団体：
がんに関する患者会・患者支援団体に所属し、20歳以上で、
事前に同意が得られたがん体験者

(3) 調査期間（研究グループ全体）

開始月日：静岡県立静岡がんセンター倫理審査委員会承認日（2013年12月13日）

終了月日：2015年3月31日

※医療機関によって、倫理審査に時間がかかること、患者団体の活動形態は団体により異なることから、研究グループ全体の調査期間は幅を持たせ、各参加医療機関や患者団体がそれぞれのタイミングで調査を実施することとした。

(4) 調査方法

- a) 無記名郵送法による自記式アンケート調査
※調査参加者（アンケート回答者）が調査用紙に自分で回答を記入する形式で、無記名で実施するアンケート調査。記入済み調査票は、委託を受けた調査機関に返送とした。
 - b) 調査票
調査票は、調査票 A、調査票 B の 2 種類準備し、調査参加医療機関や患者団体が、選択することとした。
調査票 A：c)の調査項目の①－⑤
調査票 B：c)の調査項目の①－④
- ※調査票を 2 種類準備した理由は、国のがん対策推進計画に就労支援の項目があり、都道府県によっては、がん患者の就労実態の調査を実施しているところもあり、重ならないように、就労実態に関する項目の有無は参加施設や団体が選択できる形にした。

c) 調査項目

- ① 基本情報としての病気や治療に関すること
- ② 悩みや悩みへの対応に関すること
- ③ 治療前・治療中・治療後の悩みや負担
- ④ あなたご自身に関すること
- ⑤ 仕事に関すること

d) 自由記述回答の設問

- ① 悩みや負担：がんと診断された頃、診断から現在に至るまでの間、現在
- ② 相談内容（相談相手も自由記述）
- ③ 悩んだ時の自身の対処
- ④ 悩みを和らげるためにほしいと思った情報や支援
- ⑤ 治療開始前・治療中・治療終了後に知りたかったこと

(5) 倫理的配慮

調査は、無記名で実施し、個人情報に含まれない。調査票には、医療機関や患者団体のコード番号のみ記載がある（各施設や団体にまとめたデータ等を返し、診療や支援に役立ててもらうため）。

調査は倫理審査委員会で審議され承認されたうえで実施した。なお、患者団体の場合は、静岡県立静岡がんセンターでの代理審査とした。

調査の参加者は、説明文書を読んだ上で、調査協力に同意された場合、同意書に署名後、アンケートに回答してもらった。同意書は、医療機関は各医療機関で管理し、患者団体は、調査事務局で管理とした。調査票は郵送で調査機関に返送してもらい、同意書の氏名と調査票を照合することはできない仕組みとした。

(6) 回収状況

(全体) 調査票配付数 8,185 通
調査票回収数 4,054 通（内、調査票 A 3,749 通、調査票 B 305 通）
回収率 49.5%
※無記入で返送された 3 通は無効回答とする。

(医療機関)
調査票配付数 5,708 通
調査票回収数 3,546 通
回収率 62.1%

(患者団体)
調査票配付数 2,477 通
調査票回収数 508 通
回収率 20.5%

注) 本報告書では、基本的に全体の回答数（4,054 通）を母数として集計を行っているが、一部、わかりやすくするために個別の質問への回答者数（あるいは回答件数）を母数とした集計表やグラフ等がある。